



島田 和雄 議員



コロナ患者への支援は

問 万が一コロナに感染した場合、患者は病院に入院するか、ホテルなどの宿泊療養施設に入るか、自宅療養のいずれかだと思いが、現在の旭市民の状況は。

答 感染者の療養内訳は、9月2日現在で入院中2人、自宅療養29人、ホテル療養5人、入院・ホテル療養等調整中40人、退院などが367人。

問 コロナ感染者に対して、公的な支援はあるのか。

答 入院費用、ホテル療養の費用、自宅療養での県の配食サービスなどは県が費用を負担する。

生涯活躍のまちに対する米本市長の考えは

問 生涯活躍のまちは、地方創生事業において全国的にも初めてという官民連携の大事業だが、明智前市長から引き継がれたこの事業について、米本市長はど

う考えているか。

答 本事業は旭市の将来を左右する重要な事業だと認識している。明智前市長が傾注してきたまちづくりを引き継ぎ、将来の旭市のために市と事業者、地域住民が一体となって積極的なまちづくりを展開し、市の魅力を高め、人口減少、少子高齢化に歯止めをかけていきたいと考える。

令和4年春のまち開きを前に多方面からの注目を集めているが、この事業が官民連携によるまちづくりの好事例として全国に発信できるように、市として全力で取り組んでいく。



現時点でのイメージ

その他の質問事項

○道路環境保全事業について

妊産婦の受入れは万全の体制で

問 新型コロナウイルスに感染した柏市の妊婦は入院調整ができず、9か所の医療機関で受入れを断られ、自宅で出産し赤ちゃんは死亡した。県は新型コロナウイルス感染妊産婦への対応を強化すると発表したが、本市の周産期医療機関の受入れ体制はどのようになっているのか。

答 新型コロナウイルスに感染した妊婦の入院調整について、36週以降または36週未満で産科管理が必要な場合は、産科かかりつけ医が地域の周産期母子医療センターと調整する。調整がつかない場合は、母体搬送コーディネーターが全県下で調整する。その他の方については管内保健所が調整し、調整がつかない場合は、県の医療調整本部が調整する。

問 今後3回目のワクチン接種が必要となった場合、どのような対応をするのか。

答 海外では3回目の接種を開始している国もあると報道



伊藤 房代 議員

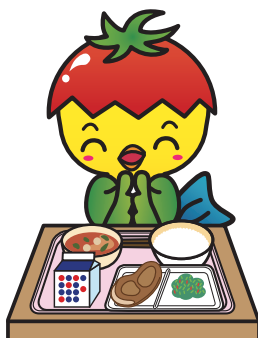


されているが、現在国からの通知は来っていない。今後国の決定に従い迅速に進めていく。

学校給食を完全無償化に

問 学校給食費は現在第3子以降が無料、コロナ対策として6か月間免除となっているが、保護者の負担軽減のため完全無償化にできないか市長に伺う。

答 学校給食の完全無償化は、私の政策としても示したが、保護者に求められる教育に関する負担軽減を図り、子どもたちが健康やかに成長できる環境づくりを行うため、意義が深く大きな価値があると考えている。財政や経済の状況、県の動向を見ながら判断していく。



その他の質問事項

- 困窮世帯への支援について
- SDGsについて
- 「おくやみ窓口」について
- 通学路の安全対策について
- EVのインフラ整備について